

印 都 第 5 7 7 号

平成20年10月24日

国土交通省道路局長 様

印旛村長 佐 藤 榮



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり意見書を提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県印旛村

近年、少子・高齢化や生活環境の変化などにより道路に求められるニーズは多様化しており、また地域の状況によってその役割はさまざまである。

地方においては、アクセスの向上を図る幹線道路の整備は基より、歩行者対策や防災対策など地域の大部分を占める生活道路における道路整備はまだまだ不十分な状況である。

本村には、ドクターヘリの基地がある大学病院があり県の医療拠点となっておりことから救急の搬送や見舞客が多く訪れているが、道路整備や橋梁改修にあたっては、交通量が少ないために国補事業採択の前提である費用便益が基準を上回ることが困難な箇所が多く、単独事業として実施せざるをえないために対策が遅れているのが現状である。

また、維持管理については、通常のランニングコストに加え橋梁などの老朽化によって見込まれる修繕費の増大が今後の地方財政を圧迫することが予想される。

このようことから、道路整備や維持管理において、地域の特性や事業の特徴を加味した事業評価手法や財源措置の強化を講じるなどして地方負担の軽減を図っていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

千葉県印旛村

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
県の医療拠点となっていることから、救急患者の搬送や見舞客が多く訪れているが、道路や橋梁などの整備・改修は遅れており、災害や緊急時の交通確保は不十分である。 また、生活道路については、危険な箇所が多々あり、歩行者を含めた地域交通の安全対策や災害対策には苦慮している。 維持管理面においては、大型車両の増加によって舗装の損傷が著しく、また、地理的条件や国営干拓事業によって橋梁が多いことから、改修と老朽化対策に苦慮している。	地方道路の整備は交通量が少ないため、費用便益が小さく国補対象としては困難である。 また維持管理についても同様なことから、単独事業として実施せざるを得ないが、財政的な理由により対策が遅れている。 橋梁については、耐震化などの対策が遅れており、今後、老朽化が進み、修繕費が財政を圧迫することが予想される。 このように医療拠点となっている事や区画整理事業などの計画、また上位施策によって生じた負担増など、地域の状況を加味した財政支援策を講じていただきたい。

②ー２ 地域の目指すべき将来像

千葉県印旛村

豊かな自然の中で培ってきた自然・歴史・伝統・人間関係を財産として、将来を担う子供たちへと伝えていきながら、地域の活力を高め、誇りある活気に満ちたまちづくりを目指している。

このような目標の中で、地域活力を向上させるための基盤として、都心や空港へのアクセスを図る広域幹線道路の整備を積極的に推進し、広域の交通体系とあわせた道路ネットワークの充実を図る。

また、誰もが安心して円滑に活動できるよう、生活道路の適切な維持管理・改修整備を行い、安全で災害に強い地域づくりを進める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④
千葉県印旛村

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	広域幹線道路の整備	市街地整備の推進 交流人口増による産業の活性化 アクセスの向上 地域交通の安全確保	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	歩道を含めた生活道路の整備	安全で円滑な交通の確保 安全な歩行者・自転車空間の確保	
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進	橋梁や舗装の維持修繕	ストックの延命化 修繕コストの削減 防災対策	